

<p>・環境教育の場としての活用</p>	<p>ューバダイビング、シュノーケリング、シーカヤックなど利用者も増加しています。それに併せて地域の飲食店、民宿などの利用者も増加しています。</p> <p><環境教育の場としての活用></p> <p>渡嘉敷村では、平成26年6月から7月にかけて、渡嘉敷村を訪れた修学旅行生に対し、サンゴ移植の体験学習などを実施しました。</p> <p>また、座間味村では地元ダイビング協会協力のもと、地元の児童生徒へ環境教育として、6月にはサンゴの産卵学習や、体験ダイビングを毎年おこなっています。陸域としては、小学生によるケラマジカの調査をおこなっています。</p>
<p>特記事項</p>	<p>平成24年6月の全体構想の認定を受け、特定自然観光資源である「慶良間のサンゴ礁」の保全や利活用に係るルール作りの検討に着手しています。</p>